

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	外国人
試験科目	地域社会学		

【基礎】

問題1 以下の6つの用語のうちから4つを選択し、その意味を説明してください。

解答の順番は問いませんが、選択した番号を文頭に明記してください。

- (1)下位文化理論
- (2)ゾーン(同心円地帯)理論
- (3)自然村
- (4)トランスナショナル・コミュニティ
- (5)結節機関説
- (6)定量的調査(量的調査)と定性的調査(質的調査)

【専門】

問題2 次の2つの問いに解答してください。

- (1)日本の地域コミュニティにおけるジェンダー平等の現状と課題について説明してください。
- (2)ジェンダー平等の視点を取り入れた地域の持続可能性を高めるための方策について、具体例をあげつつ論じてください。

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 一般・外国人・社会人

科目名 地域社会学

解答例又は出題意図

【基礎】

問題1 以下の6つの用語のうちから4つを選択し、その意味を説明してください。

- (1) 下位文化理論
- (2) ゾーン（同心円地帯）理論
- (3) 自然村
- (4) トランスナショナル・コミュニティ
- (5) 結節機関説
- (6) 定量的調査（量的調査）と定性的調査（質的調査）

出題意図：

大学院で地域社会学を学ぶにあたって必要となる基礎知識への修得状況を確認するために出題したものである。

【専門】

問題2 次の2つの問いに解答してください。

- (1) 日本の地域コミュニティにおけるジェンダー平等の現状と課題について説明してください。
- (2) ジェンダー平等の視点を取り入れた地域の持続可能性を高めるための方策について、具体例をあげつつ論じてください。

出題意図：

- ① 日本の地域コミュニティにおけるジェンダー平等の現状を説明できるか。
- ② 日本の地域コミュニティにおけるジェンダー平等に向けての課題を説明できるか。
- ③ ジェンダー平等の視点を取り入れた地域の持続可能性を高めるための方策について論理的に説得力をもった記述ができるか。
- ④ ジェンダー平等の視点を取り入れた地域の持続可能性について具体的で適切な事例をあげることができるか。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	外国人
試験科目	福祉・医療社会学		

【基礎問題】

①福祉国家の次の3つの側面；

「国家目標としての福祉国家」「給付国家としての福祉国家」「規制国家としての福祉国家」

のそれぞれについて、適切な例をあげながら説明しなさい。

②健康と病の経験における「素人の知識」について、適切な例をあげながら説明しなさい。

【専門問題】

絶対的貧困と相対的貧困について、それぞれの内容、言及されるようになった背景、具体的な現象について述べた上で、解決のためにどのような取り組みがあるか、これまでの研究や具体例をあげながら論じなさい。

解答上の注意点

※関連する用語を適切に選択・使用し説明すること。

※具体例を挙げ、できる限り詳細に説明すること。

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学 選抜区分 一般 ・ 外国人 ・ 社会人

科目名 福祉・医療社会学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1（基礎）

出題意図：

- （1）テキストの内容を理解し、福祉・医療社会学の基礎的な知識を身に付けているかを問う。
- （2）テキストの該当箇所に記されている基本概念の定義や要素あるいは問題の性質、例、課題や論点等について、適切に引用し、正確に説明できているかを確認する。

問題 2（専門）

出題意図：

- （1）テキストの内容を理解したうえで、福祉・医療社会学の専門的な課題に取り組むための知識と応用力、論述力を身に付けているかを問う。。
- （2）テキストの該当箇所をふまえて回答するために必要な概念を説明するとともに、課題の背景要因や経緯、各国の状況の分析、課題の解決方法や展望を相互に関連させて論述する力を評価する。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	高齢者福祉論		

次の問題に答えてください。なお、解答は指定の用紙を使用してください。

【基礎】

問題1. 次の用語について説明しなさい。

- 1)介護保険制度における、被保険者について説明しなさい。
- 2)介護休業制度について説明しなさい。

【専門】

問題2. 「家族によるケア」と「ケアの社会化(脱家族化)」それぞれの特徴について説明しなさい。
また、日本における、家族によるケアの現状と課題を述べた上、その課題を改善するためにどのような方法が考えられるのか、あなたの考えを述べなさい。

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 一般 ・ 外国人 ・ 社会人

科目名 高齢者福祉論

解答例又は出題意図

【基礎】

問題1. 次の用語について説明しなさい。

- 1)介護保険制度における、被保険者について説明しなさい。
- 2)介護休業制度について説明しなさい。

<出題意図>

高齢者福祉分野における基礎的な知識の習得状況を確認するために出題したものである。

【専門】

問題2. 「家族によるケア」と「ケアの社会化(脱家族化)」それぞれの特徴について説明しなさい。また、日本における、家族によるケアの現状と課題を述べた上、その課題を改善するためにどのような方法が考えられるのか、あなたの考えを述べなさい。

<出題意図>

- ・「家族によるケア」と「ケアの社会化(脱家族化)」それぞれの特徴について説明できるか。
- ・日本における、家族によるケアの現状や課題について把握しており説明できるか。
- ・文章構成力や論理的に説明する能力を確認するために出題したものである。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	外国人
試験科目	地域経営論		

【基礎】

問題 1

以下のすべての用語の定義や意味について説明しなさい。

- (1) マスツーリズム
- (2) ヘリテージツーリズム
- (3) スポーツツーリズム
- (4) 世界遺産
- (5) 観光地ライフサイクル

【専門問題】

問題 2

アフターコロナ(COVID-19 以後)における観光について、以下のキーワードをすべて用いて、世界保健機関(WHO)が 2020 年 3 月 11 日に、世界はパンデミックの状況にあると発表してからこれまでににおける観光に関する論点を整理しつつ、アフターコロナにおける観光についてあなたの考えを論じなさい。

キーワード: 移動、集まること、不要不急、デジタルテクノロジー、レジリエンス

2023 年度第 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 外国人

科目名 地域経営論

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1 以下のすべての用語の定義や意味について説明しなさい。

- (1) マスツーリズム（参考：山下晋司編『観光学キーワード』、有斐閣、pp.114-115）
- (2) ヘリテージツーリズム（参考：山下晋司編『観光学キーワード』、有斐閣、pp.124-125）
- (3) スポーツツーリズム（参考：山下晋司編『観光学キーワード』、有斐閣、pp.128-129）
- (4) 世界遺産（参考：山下晋司編『観光学キーワード』、有斐閣、pp.40-41）
- (5) 観光地ライフサイクル（参考：山下晋司編『観光学キーワード』、有斐閣、pp.110-111）

<出題意図>

出題意図については、まちづくり手法としての地域経営及び、観光学研究の分野における基礎的な専門用語を確認するものである。

問題 2 アフターコロナ(COVID-19 以後)における観光について、以下のキーワードをすべて用いて、世界保健機関(WHO)が 2020 年 3 月 11 日に、世界はパンデミックの状況にあると発表してからこれまでににおける観光に関する論点を整理しつつ、アフターコロナにおける観光についてあなたの考えを論じなさい。

(参考:遠藤英樹編『アフターコロナの観光学』、新曜社)

キーワード:移動、集まること、不要不急、デジタルテクノロジー、レジリエンス

<出題意図>

出題意図については、世界保健機関(WHO)が 2020 年 3 月 11 日に、世界はパンデミックの状況にあると発表してからこれまでににおける観光に関して論点整理しつつ的確に説明されており、ウィズコロナ、アフターコロナにおける観光について、パラダイムシフトを意識して新たな観光(観光学)について、具体的に自身の考えを述べられるのか問うものである。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学	選抜区分	一般
試験科目	地域居住論		

次の2つの問題について答えなさい。

【基礎問題】

以下の 10 個の用語から 4 個を選択し、その意味を説明しなさい。

回答の順番は問わないが、どの語を選択したのかが分かるように回答すること。

- (1) 参加のはしご
- (2) 景観資源と景観の構成
- (3) 景観計画
- (4) 地域資源
- (5) 防災生活圏
- (6) 2項道路
- (7) パーソントリップ調査
- (8) 交通需要マネジメント
- (9) 土地利用計画
- (10) 都市の多様性を生み出す原則

【専門問題】

自身が取り組みたいと考えている研究テーマに関連させて、これからの都市計画・まちづくりの課題を設定し、①その解決に向けて必要な取り組みについて具体例をもとに論じるとともに、②現在も解決されていない課題に対して、どのような取り組みが重要かつ有効なのかを具体的に説明しなさい。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学	選抜区分	外国人
試験科目	地域居住論		

次の2つの問題について答えなさい。

【基礎問題】

以下の 10 個の用語から 4 個を選択し、その意味を説明しなさい。

回答の順番は問わないが、どの語を選択したのかが分かるように回答すること。

- (1) 参加のはしご
- (2) 景観資源と景観の構成
- (3) 景観計画
- (4) 地域資源
- (5) 防災生活圏
- (6) 2項道路
- (7) パーソントリップ調査
- (8) 交通需要マネジメント
- (9) 土地利用計画
- (10) 都市の多様性を生み出す原則

【専門問題】

自身が取り組みたいと考えている研究テーマに関連させて、これからの都市計画・まちづくりの課題を設定し、①その解決に向けて必要な取り組みについて具体例をもとに論じるとともに、②現在も解決されていない課題に対して、どのような取り組みが重要かつ有効なのかを具体的に説明しなさい。

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学 選抜区分 一般・外国人・社会人

科目名 地域居住論

解答例又は出題意図

問題 1

地域居住論が対象とする「まちづくり」領域は建築・都市・交通などを基軸とするが、そこで取り扱われる内容は空間デザインの方法・法律や制度・各種の調査計画技術・地域の歴史・デザインや計画思想など多岐にわたる。出願者がこれらの広範な分野に関する基礎的な知識を有しているかを評価するため、参考図書から満遍なく多数の用語を選定し、そこから選択した内容に関して説明を求めた。

問題 2

出願者が①研究テーマに関連した地域課題に対する明確な問題意識と目的意識を有しているか、②研究テーマに対して興味関心を持ち、具体的な地域の実践事例に関する知識を有しているか、③具体的な課題を自身で設定し、課題の解決に向けた道筋を論理的に思考し構築できるか、④設定した課題と取り組み内容の現実性を加味しているかの 4 点を評価することを意図している。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	外国人
試験科目	環境社会学		

【基礎問題】以下の三つの用語のうち、二つを選び、それぞれの意味を説明してください。

- ・環境正義
- ・順応的ガバナンス
- ・生活環境主義

【応用問題】

環境社会学の理論(どの理論でもいいです)を用いて、公害問題の解決に向けたアプローチを論じてください。

回答状の注意点

※関連する理論・用語を適切に選択・使用し説明すること

※具体例をあげて、できる限り詳細に説明すること

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学 選抜区分 一般 ・ 外国人 ・ 社会人

科目名 環境社会学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

基礎問題 以下の3つの用語のうち、二つ選んで、それぞれの意味を説明してください。

(1) 環境正義：環境汚染や被害や迷惑施設、リスクが、特定の人々、とりわけ社会的弱者にしわ寄せされる状態は社会的不公正であるとの観点から、開発や政策をチェックしたり是正する考え方を環境正義という。

(2) 順応的ガバナンス：環境保全や自然資源管理のための社会的しくみ、制度、価値を、その地域ごと、その時代ごとに順応的に変化させながら、試行錯誤していく協働のガバナンスのあり方。正解を求めるのではなく、問題を発見して解決し、つくり直し、よりよくしていくプロセスが重視される。プロセスを進めるにあたって、多元的価値の承認、複数のゴールの設定、順応的な合意形成、学習、順応的支援がポイントとなる。

(3) 生活環境主義：地域住民の視点から生活環境を観察し、地域の人たちの生活システムの保全を最も大切とみなす考え方。環境問題に取り組む場合、健全な生態系を守るべきだとする「自然環境主義」と科学技術が問題を解決するという「近代技術主義」がある。こうした人間と自然を対立的に見る考え方が、地域社会の論理と噛み合わず、住民の心に響かないことを実感した環境社会学者が提唱したものである。

応用問題 環境社会学の理論（どの理論でもかまわない）を用いて、公害問題の解決のアプローチを論じてください

環境社会学の理論が適切に選択され使用されていること

例えば被害構造論：被害が医学的、社会的に拡大・派生していく実態を、被害レベルと被害度から把握する概念。被害レベルは、生命・健康、生活、人格、地域社会に拡大する。被害の深刻度は、健康不良・身体障害によって規定されるだけでなく、社会的要因によっても大きく影響を受ける。

テーマに相応しい事例が取り上げられていること（水俣病など）

自らの見解が示され、それが論理的に考察されていること

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	外国人
試験科目	教育行政学		

【基礎問題】

以下の言葉のうち4つを選択して、その意味を説明してください。

- ・教育の機会均等原則
- ・子どもの最善の利益
- ・公教育の政治的中立性
- ・教育委員会
- ・1条校
- ・設置者管理主義

【専門問題】

文部科学省「外国人の子供の就学状況等調査(令和3年度)」の結果によれば、2021年5月時点における学齢相当の外国人の子どもの就学状況は、以下の通りでした。

「就学」(義務教育諸学校・外国人学校に就学している):

小学生相当 84,530 人(相当する総数の 90.9%。以下、同じ。)

中学生相当 35,540 人(90.0%)

「不就学」(義務教育諸学校・外国人学校に就学していない)

小学生相当 430 人(0.5%)

中学生相当 219 人(0.6%)

「就学状況を確認できず」(担当機関が確認しようとしたが確認できなかった)

小学生相当 5,826 人(6.3%)

中学生相当 2,771 人(7.0%)

この現状について「教育を受ける権利(教育への権利)」保障の観点から論じてください。

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 外国人

科目名 教育行政学

解答例又は出題意図

【基礎問題】

以下の言葉のうち 4 つを選択して、その意味を説明してください。

- ・教育の機会均等原則
- ・子どもの最善の利益
- ・公教育の政治的中立性
- ・教育委員会
- ・1 条校
- ・設置者管理主義

出題意図：教育行政学の基本的な用語の理解度を測るために出題した。「教育の機会均等原則」は教育の平等主義について、「子どもの最善の利益」は子どもに関わる立法や法的判断等における原則について、「公教育の政治的中立性」は学校教育等における中立性原則の意義について、「教育委員会」はその制度思想や役割について、「1 条校」は「学校」の法的定義について、「設置者管理主義」は、学校の設置者の役割についての理解並びに課題認識を問う問題である。

【専門問題】

文部科学省「外国人の子供の就学状況等調査（令和 3 年度）」の結果によれば、2021 年 5 月時点における学齢相当の外国人の子どもの就学状況は、以下の通りでした。

「就学」（義務教育諸学校・外国人学校に就学している）：

小学生相当 84,530 人（相当する総数の 90.9%。以下、同じ。）

中学生相当 35,540 人（90.0%）

「不就学」（義務教育諸学校・外国人学校に就学していない）

小学生相当 430 人（0.5%）

中学生相当 219 人（0.6%）

「就学状況を確認できず」（担当機関が確認しようとしたが確認できなかった）

小学生相当 5,826 人（6.3%）

中学生相当 2,771 人（7.0%）

この現状について「教育を受ける権利（教育への権利）」保障の観点から論じてください。

出題意図：教育行政学に関する研究遂行能力を測るために主題した。グローバル化によって日本国内で増加する外国人の子どもの就学状況を示すデータを読み解き、「教育を受ける権利（教育への権利）」保障の観点から、解決すべき課題を設定して、その解決の方向性や具体的な改善策を提案できるか否かを問う。子どもの権利条約に言及したり、すでに国内にて取り組まれている施策に言及していたりすれば、加点する。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	外国人
試験科目	数学科教育		

問 1: 次の(1)から(4)までの中から 2 つの用語を選択し、その例を示しながら、その意味を詳しく説明してください。

- (1)方程式
- (2)反例
- (3)関数
- (4)箱ひげ図

問 2: 数学的活動について、その例を示しながら、次のキーワードを用いて詳しく説明してください。さらに、数学的活動を実現する学習指導について、あなたの考えを論じてください。

キーワード: 過程、事象、問題、数学化

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 一般・外国人・社会人

科目名 数学科教育

解答例又は出題意図

【基礎】

問題 1：次の（1）から（4）までの中から 2 つの用語を選択し、その例を示しながら、その意味を詳しく説明してください。

- （1）方程式
- （2）反例
- （3）関数
- （4）箱ひげ図

出題意図：数学科の基本的な用語について、その意味を理解しているかどうかや、適切な例を示しながら説明することができるかどうかをみるために出題した。

【専門】

問題 2：数学的活動について、その例を示しながら、次のキーワードを用いて詳しく説明してください。さらに、数学的活動を実現する学習指導について、あなたの考えを論じてください。

キーワード：過程、事象、問題、数学化

出題意図：数学科教育の用語について、その意味を理解しているかどうか、適切な例を示しながら説明することができるかどうかをみるとともに、数学科の学習指導について、自分の考えを論理的に述べるかどうかをみるために出題した。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	一般
試験科目	言語障害支援論		

次の問題に答えてください。なお、解答は指定の用紙を使用してください。

【基礎】

問題 1 吃音に関係する以下の(1)～(7)から 4 つの用語を選択し、それぞれ簡潔に説明して下さい。

- (1) 予期不安
- (2) 随伴運動
- (3) 自然治癒
- (4) 診断起因説
- (5) 阻止(つまり、ブロック)
- (6) 吃音緩和法(stuttering modification)
- (7) 遅延聴覚フィードバック(Delayed Auditory Feedback, DAF)

問題 2 特別な支援が必要な子どもの指導・支援に関する以下の(a)～(e)から 2 つの用語を選択し、簡潔に説明して下さい。

- (a) 特別支援学級
- (b) 自立活動
- (c) 言語聴覚士

【専門】

問題 3 以下の(ア)～(オ)の障害の中から 1 つの障害を選択し、(1)その障害がある人が抱える困難にはどのようなものがあるか、(2)その困難の軽減・緩和のためにどのような指導・支援ができるかを述べて下さい。

- (ア) 自閉スペクトラム症、(イ) 注意欠如・多動性障害(ADHD)、(ウ) 吃音、(エ) 発達性読み書き障害(Dyslexia)、(オ) 構音障害

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 一般 ・ 外国人 ・ 社会人

科目名 言語障害支援論

解答例又は出題意図

【基礎】

問題 1 吃音に関係する用語についての理解を問う。具体的には以下に挙げるような事柄が記載されている時に加点する。

※ これら以外の記載についても、加点することがある。

(1) 予期不安

以前吃音が出た音や言葉、場面で、「また、吃音になるのではないか」と不安や緊張を感じること。多くの吃音のある人は、特定の音や言葉、場面への不安がある。

(2) 随伴運動

吃音の言語症状に随伴して、目尻がピクピク動く、顔を歪める、手や足を動かすなどの発話に関係ない運動が生じること。

(3) 自然治癒

治療などしなくても吃音の症状が自然と消失すること。幼児期に出現した吃音の 8 割程度は自然治癒すると言われている。

(4) 診断起因説

ウェンデル・ジョンソンが提唱した吃音の原因に関する仮説で、幼児に頻繁に見られる正常な非流暢性（normal disfluency）を保護者などの周囲の人が吃音と「診断」し注意や叱責をすることで、吃音の言語症状が重度化するとした。現在では、否定されている。

(5) 阻止（つまり、ブロック）

語音の繰り返し、語音の引き伸ばしと並ぶ、吃音の中核症状の一つ。発話時に喉や口腔などの発声発話器官に余計な力が入り、スムーズに動かすことができない。語音の繰り返し、語音の引き伸ばしに比べ、より進展した言語症状と捉えられている。

(6) 吃音緩和法（stuttering modification）

吃音への不安や恐れを軽減し、阻止のような力の入った吃音でなく軽い繰り返しや引き伸ばしな

どの「楽な吃音」で話すことを目指すスピーチセラピーの方法。確認、脱感作、緩和、安定の4段階から構成される。

(7) 遅延聴覚フィードバック (Delayed Auditory Feedback, DAF)

ヘッドセットなどを用い、自身の発話をほんの少し(0.1~0.2秒程度)遅延させ聞こえるようにする装置。DAF条件下では、吃音でない人は語音の繰り返しや引き伸ばしなどの吃音の言語症状が生じることが多いが、吃音の人の中には逆に吃音の言語症状が消失する場合がある。

問題2 特別な支援が必要な子どもの指導・支援に関する用語についての理解を問う。具体的には以下に挙げるような事柄が記載されている時に加点する。

※ これら以外の記載についても、加点することがある。

(a) 特別支援学級

小学校や中学校に設置されている、障害のある児童・生徒が学習上や生活上の困難を克服するために設置されている学級。特別支援学校に在籍する程重度ではないが、通常学級に在籍するには困難を伴う者が対象となる。知的障害、肢体不自由、病弱・心身虚弱、弱視、難聴、言語障害、自閉症・情緒障害の特別支援学級がある。

(b) 自立活動

特別支援学校学習指導要領で規定されている障害に基づく困難を主体的に改善・克服するための活動。健康の保持、心理的な安定、環境の整備、身体の動き、コミュニケーションの各領域から個々の児童・生徒の実態に即した内容を取捨選択する。指導に当たっては、児童生徒ごとに個別の指導計画を作成する。

(c) 言語聴覚士

言語障害、音声障害、聴覚障害、摂食・嚥下障害の評価や訓練・指導・助言などを行う専門職。1997年に国家資格化された。言語聴覚士の多くは、医療機関に所属し、理学療法士、作業療法士などと共にリハビリテーションや療育に従事している他、外部専門家などの形で学校現場への助言・指導などを行なっている者もいる。

【専門】

問題3 選択した障害のある人が抱える困難や、その困難を踏まえた指導・支援のあり方について

の理解や考えを問う。具体的には以下に挙げるような事柄が記載されている時に加点する。

※ これら以外の記載についても、加点することがある。

(観点 1) 選択した障害のある人が抱える困難について、以下のようなことが述べられている。

- 当該の障害特有の身体・心理特性からくる困難（例：自閉スペクトラム症のある人の感覚過敏や、ADHD のある人の衝動性、吃音のある人の Loss of Control の感覚など）
- 障害のある人の周囲の人の反応からくる困難（例：障害への無理解や、誤解、からかいなど）
- 障害のある人の社会参加を阻むバリア（例：基礎的環境整備の不備、合理的配慮の欠如など）

(観点 2) 選択した障害のある人の抱える困難を踏まえた指導・支援のあり方について、以下のようなことが述べられている。

- 障害のある人に寄り添ったり、真摯に傾聴したりする姿勢
- 多面的・包括的な観点（例：国際生活機能分類に基づく評価など）に立った実態把握や指導・支援計画立案の実施
- 障害のある人への訓練・指導（スピーチセラピー、心理療法）に加え、周囲の環境へのアプローチ（例：障害の啓発、基礎的環境整備の推進、合理的配慮の提供など）の視点も持つ

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	外国人
試験科目	地域芸術彫刻論		

【基礎問題】

カービングとモデリングの技法について、技法工程、材料等、および著名な作家、作品等を例示しつつ具体的に述べてください。なお、モデリングに関しては作品化するにあたって粘土を耐久性のある素材に変換しなければなりません、それに必要な技法工程の一例についても述べてください。

【専門問題】

下記の語句群の中から一つ選び、その語句の造形的な見方・考え方について著名な作家や作品を例示し具体的に論じて下さい。なお、解答に際しては選んだ語句を最初に明記すること。

(語句群:量感・トルソ・レディーメイド)

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 一般 ・ 外国人 ・ 社会人

科目名 地域芸術彫刻論

解答例又は出題意図

問1：彫刻技法におけるカービングとモデリングについて、技法工程、材料、および著名な作家や作品等を例示しつつ具体的に述べてください。なお、モデリングに関しては作品化するにあたって粘土を耐久性のある素材に変換しなければなりません、それに必要な技法工程の一例についても述べてください。

《出題意図》

※彫刻の技法で最も一般的なモデリングとカービングの技法について知識・理解があるか。

※モデリングにおいて作品化するための技法（テラコッタ、石膏取り、鑄造等の技法）について知識・理解があるか。

※作品化するための技法工程の概要が理解できているか。

問2：下記の語句群の中から一つ選び、その語句の造形的な見方・考え方について著名な作家や美術作品を例示し具体的に論じてください。なお、解答に際しては選んだ語句を最初に明記すること。

（語句群：量感・トルソ・レディーメイド）

《出題意図》

語句に関する専門的な知識・理解はあるか。また、関連する代表的な作家や作品を例示してその語句に対する見方・考え方を具体的に論じられているか。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(1枚のうち 1枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	一般
試験科目	運動神経生理学		

次の問題に答えてください。なお、解答は指定の用紙を使用してください。

【基礎】

問題1

(1)身体運動に関わる基礎的な用語について問います。

「キネマティクス情報」と「キネティクス情報」についてそれぞれどのような情報を示すのか簡潔に説明をしてください。

(2)身体運動を行う際は、様々な情報を脳内で処理をして運動計画を立てます。テーブルの上のカップを手にとる際の情報処理について、次のキーワードを全て用いて説明してください。

【視覚情報、端点、固有感覚情報、触覚、経路と軌道、加速度と速度、逆キネマティクス変換、逆キネティクス変換】

【専門】

問題2

大脳皮質の運動に関わる領域として一次運動野だけでなく、運動前野や補足運動野などの運動連合野もあり、多くの調査が行われてきました。運動前野または補足運動野の機能について1つ具体的を挙げ、どのような実験機器を用いて、どのような実験方法(心理物理学実験)で調査されたのかを対照実験も含めて説明してください。

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 一般

科目名 運動神経生理学

解答例又は出題意図

【基礎】

基礎的な語句の理解を確認すると共に、運動計画を立てる際の一連の情報処理が理解できているかを確認するために出題した。

(1) キネマティクス情報：手などの身体部位の位置、身体部位を動かす際の速度や加速度、関節の角度や筋の長さの情報を示す。

キネティクス情報：筋収縮により生じる関節トルクや運動をする際に生成した力や体験した力に関連した情報を示す。

(2) 空間的な目標の位置を決定するために、視覚情報により頭部を基準としたテーブルの上のカップ（目標物）の位置を計算し、端点となる自分の手の初期位置を視覚情報と、固有感覚情報と触覚から推定する。そして、腕の各部位の配置と目標の位置が計算できたら、端点の経路と軌道を指定して、運動の加速度と速度を決める。次に、端点（自分の手）が目標に到達するように、上腕や前腕の長さなどのキネマティクス情報から、各関節角度がどの程度変化すればよいのかを逆キネマティクス変換により計算する。最後に、腕を動かすためには、粘性、剛性、重力、外部負荷によって生じる抵抗力を上回る必要があるため、必要な関節トルクを逆キネティクス変換により計算する。腕を伸ばす際には、カップの形状からアフォーダンスを読み取り、動作の語彙からカップを掴む際に適した手の形も準備する。以上が運動計画を立てる際の情報処理である。

【専門】

神経科学実験では使用する計測機器の機能特性や実施する心理物理実験を理解しておかなければ、明らかにしたい知見を確認することができない。具体的な実験系を説明させることで、それらの理解があるかを確認するために出題した。